

みと 美都



PTA資源回収にご協力ありがとうございました

御津南部小学校
校長室だより
令和5年12月22日
No.34

終業式で話したこと
※抜粋

2学期が終わります



今日は2学期の終業式です。2学期はいろいろなことがありましたが、みなさん一人一人が前を向いて挑戦し、努力し続けた姿がありました。どの学年も、大きく成長した2学期だったと思います。そこで、校長先生は、2学期のそれぞれの学年の成長やがんばりを言葉にしてみました。

1年生は、**自立**という言葉です。入学したばかりの頃は、先生やお兄さんお姉さんに教えてもらったり、助けてもらったりすることがたくさんあった1年生でしたが、今は「自分たちの力で」「自分たちで考えて」できることがたくさんになりました。たいへん立派です。

2年生は、**自主**という言葉です。自分から進んでやるという意味です。気持ちのよいあいさつをしたり、歌やピアノにチャレンジしたり、授業で手を挙げたり、やる気いっぱいの2年生の姿をたくさん見ました。2年生の子たちをみていると元気になります。

3年生は、**自信**という言葉です。社会見学やかけ足のがんばり、そして、けやき発表会の音楽劇では、見事な表現で、学校に新しい風を吹かせてくれました。一つのことをやり遂げると自信になって、他のこともどんどんよくなっていくと言います。3年生はまさしくそうだと思います。

4年生は、**向上心**という言葉です。4年生のいいところは、全員が前向きで、いつもよしがんばろうという気持ちになるところです。もっとすごいのは、どうしたらもっとよいものになるのか、自分たちで考えて工夫して取り組めるところです。授業を見させてもらうと、いつも最後までみんなで頭をはたらかせています。

5年生は、**前進**という言葉です。5年生の2学期は、6月の野外活動で深めたチームワークをけやき発表会や社会見学でさらに深めてくれました。学習では、地域や本物から学ぶ学習にもチャレンジしてくれました。3学期は学校の中心となって活躍してもらいます。これからの御津南部小学校をさらに前へ進めてほしいと思います。

6年生は、**絆**という言葉です。最上級生として、学校の代表として、修学旅行やけやき発表会、持久走大会など、学年の仲間と協力して、立派にやり遂げてくれました。普段の生活をみても、最上級生としての自覚が感じられるようになってきました。太く長く繋いできた絆を、卒業に向けてさらに強いものにしてほしいと思います。

「**全部本気**」をスローガンに頑張ってきた一年間もあと3学期だけとなりました。さらに前へ進もうとする皆さんに、ある言葉を紹介します。それは、「**継続は力なり**」という言葉です。この言葉の意味は、何事も続けることが大事で、続けているうちに、必ず自分のものになる、できなかったことができるようになり、それがうれしくて、また次もがんばろうという気持ちになるという意味です。力試しテストで合格した子、かけ足で長く走れるようになった子、最初からできる子はいません。練習を続けてきたからできるようになったのです。あいさつの声もスリッパの整頓も、毎日続けたからよくなりました。大事なことは**毎日の積み重ね**です。今の自分は、今までの**毎日の積み重ね**でつくられたもの、そして、これからの自分は、明日からの**毎日の積み重ね**でつくられていくものということを心に止めてほしいと思います。(後略)



豊川市通学路交通安全プログラムの報告

交通安全プログラムは、平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に、各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議を行いました。また、平成25年度からは、文部科学省の事業である「通学路安全推進事業」の対象市町村として本市が指定され、各小学校区の危険箇所について、課題の把握、対策の方法などを中心に話し合い、対策が実施されました。そして、引き続き、通学路の安全確保に向けた取組を行うために、「豊川市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が連携して児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っています。通学路交通安全プログラムでは、市内の小学校を5つのグループに分け、それぞれ5年に1回、その地区から合同点検の候補地を決定しています。今年度は、御津校区・小坂井校区が該当しています。

9月に、学校、保護者代表、道路管理者、警察、自治会等が参加する合同点検を行いました。そして、合同点検の結果から明らかになった対策が必要な箇所について、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討しました。検討された主な箇所の対応としましては（一部抜粋）、

- JR愛知御津駅西踏切 → 区画線の引き直しや看板の設置
- 唐人池 → 区画線や柵について検討
- 坪野山下 → 区画線の引き直しやグリーンベルトで対応
- 佐脇神社西の交差点 → 停止線や区画線の引き直しを検討



詳しくは、教育委員会のHPに掲載されます。今後は、対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか、対策効果の把握を実施し、対策内容の改善・充実を図っていきます。



2023年が終わります ご理解ご協力ありがとうございました

新型コロナへの対応が5月に変わり、新たな時代への節目となった2023年でした。学校も、昨年までのどのような形ならできるから、今年はどう復活させていくか、「工夫ある復活」をテーマに、教育活動を再開させてきました。コロナ前と同じように復活させるのではなく、新たなものや価値をつくり出していく。また、コロナ禍での英断も無駄にせず、とにかく知恵をはたらかせる、そんな1年になりました。

毎日の授業も学校行事も、活動に制限がなくなりました。子どもたちは、今まで以上に前向きにがんばってくれました。「野外活動」や「修学旅行」は従来に近い形で、「運動会」や「けやき発表会」などの行事も観客の制限なしで行うことができました。授業も、みんなで話し合う活動や地域とかかわる活動に積極的に取り組むことができました。サマースクールやプール開放も今年を行うことができました。「ピンチはチャンス」「できる方法やできる理由を考える」の姿勢でこの先も取り組んでいきたいと思えます。

毎日の健康管理や家庭での学習指導をはじめ、多大なるご支援・ご協力ありがとうございました。2024年がみなさんにとってよい年になるよう心から願っています。

